

3. 提出書類 様式集、その他

3-1 提出書類 様式集

- ・ 直結給水事前協議申請書
- ・ 直結給水事前協議回答書
- ・ 給水装置所有者 名義・住所変更届
- ・ 給水装置 種別・用途変更届
- ・ 給水装置 中止・廃止届
- ・ 給水装置工事 検査申込書
- ・ 水道利用加入金減免（免除）申請書
- ・ 給水装置増設工事施工承認願（簡易）
- ・ 小田原市 上水道給水装置工事 事前施行申請書
- ・ 水道メーター等 き損届
- ・ 水道メーター等 紛失届
- ・ 給水装置工事 変更・取消届
- ・ 代理人選定届
- ・ 子メーター設置工事申請 及び 施行承認願
- ・ 子メーターによる計量等申請書
- ・ 給水装置 使用開始届
- ・ 改造水道メーター取替伝票
- ・ 承諾書 土地使用承諾書
- ・ 同意書 （分岐（統合）同意書）
- ・ 誓約書 （工事に給水装置を設ける給水装置工事）
- ・ 誓約書 （給水管の舗装先行取出し工事）
- ・ 誓約書 （水の出不良）
- ・ 誓約書 （消火用施設を設置する工事）
- ・ 誓約書 （子メーター設置に伴う誓約書）
- ・ 承諾書 （直結増圧方式給水条件承諾書）
- ・ 既設給水管使用確認書
- ・ 受水槽管理簿

令和 年 月 日

直結給水事前協議申請書

(事前協議申請者)

住 所

氏 名

電 話

下記建物に直結給水したいので事前協議を申請します。

受付番号	号
給水装置 施工業者	住 所 氏 名 電話
施工場所	小 田 原 市
建築物	☐ 新 設 ☐ 既 設 (各戸検診: ☐ あり ☐ なし)
階 数	階建てビル
形 態	☐ 戸建て住宅 ☐ 住居専用ビル ☐ 業務専用ビル ☐ 住業併用ビル
戸 数 等	☐ 住居戸数 戸× 棟 ☐ 業務用 戸× 延床面積 m ²
業 態	
竣工予定日	令和 年 月 日
使用水量	1日最大使用水量 m ³ /D・瞬間最大流量 ℓ/S
分岐口径	配水管 mm × 取出し給水管 mm
宅地・口径	宅地標高と配水管埋設道路標高の高低差
標 高	宅地標高 E L m - 道路標高 m = 高低差 m
建 築 高	建築高さ m 最上階までの立上がり管高さ m
関係添付図	位置図 (住宅地図・明細地図)
備 考	

* 太線内の必要事項を記載のうえ、関係図面を添えて申請すること。

* 業務専用ビル及び住業併用ビルは、業態を記載すること。

(記載例: 1～2階事務所、3～5階住宅)

直結給水事前協議回答書

水給 第 号
令和 年 月 日

(事前協議申請者)

《住 所》

《氏 名》

様

小田原市水道事業

小田原市長 加藤 憲一

(公印省略)

直 結 給 水 事 前 協 議 の 結 果 に つ い て

令和〇〇年〇〇月〇〇日付をもって事前協議依頼がありました下記の物件につきましては、次のとおりお知らせいたします。

付近配水管の水圧状況を調査した結果、当該地は適用水圧_____Mpa で設計することができます。

- ※ 配水管の切替工事及び事故等によりやむを得ず、計画的あるいは、緊急的に断水、減水し、又は濁水等を伴うことがありますので、給水方式による長所・短所を十分考慮のうえ、最適な給水方法を採用して下さい。
- ※ 給水装置の設計にあたっては、「給水装置工事設計・施工指針」に基づいて下さい。
- ※ 詳細については、上下水道局または小田原市給水装置工事事業者へお問合せ下さい。
- ※ 給水装置工事申込時に本書を添付して下さい。

物件概要

受付番号		建築物	
給水装置 施工業者	住 所 氏 名		
施工場所	小田原市〇〇××番 付近 (建物名称：未定)		

様式第 16 号

令和 年 月 日 受付 第 号

課 長	副課長	係 長	担 当	担当者	月 日	給排水業務課

給 水 装 置 所 有 者 名 義 住 所 変 更 届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届出人 住所.....

氏名.....

次のとおり届け出ます。

需要者番号	水栓番号	用 途 区 分		
		1 普計、家庭用 2 特計、事業用	3 特計、浴場用 4 普計、共用栓	5 特計、臨時用
水栓所在地	小田原市			

名義変更

旧 名 義 人	住 所			引継 年 月 日		
				令和 年 月 日		
新 名 義 人	氏 名			変更理由		
				売買・相続・贈与・譲渡・ (その他)		
	住 所			業者No.		
	ふりがな 氏 名	印	電話 ()	マスター 確 認	マスター 整 理	水栓番号 台帳整理

住所変更

旧住所		業者No.			
		マスター 確 認	マスター 整 理	水栓番号 台帳整理	
新住所					

様式第 12 号

課 長	副課長	係 長	担 当	担当者	月 日	給排水業務課

給 水 装 置 種 別 ・ 用 途 変 更 届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届出人 住所.....
氏名.....

次のとおり届け出ます。

需要者番号		水栓番号	メーター口径	メーター番号	業者No.	
				— —		
水栓所在地		小田原市			検針伝票 整理	
変更事項		旧	新	マスター 確認		
所有者	住 所				マスター 整理	
	ふりがな 方 書				水栓番号 整理	
	ふりがな 氏 名					
変更理由						

令和 年 月 日 受付 第 号

様式第 11 号

課 長	副課長	係 長	担 当	担当者	月 日	給排水業務課

給 水 装 置 中 止 届
廃 止

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

住所.....

届出人

氏名.....

次のとおり届け出ます。

需要者番号		水 栓 番 号	異動理由	開閉区分	開 閉 日					
					年 月 日					
給水装置所在地		小田原市			メーター流量	使 用 水 量				
使 用 者 氏 名				電話	m ³					
納入 精算 者	住 所				認 定 区 分	業 者 名				
	ふりがな			電話	異 動 日					
	氏 名				年 月 日					
					午前・午後 :					
所 有 者	住 所				メーター口径	下 水 道				
						有 ・ 無				
	ふりがな			電話	メーター番号					
	氏 名	印								
備 考		設置年月日		検針伝票 整 理	庫入伝票 整 理	マスター 確 認	マスター 整 理			
		令和・平成・昭和 年 月 日					水栓番号 台帳整理			

様式第 8 号

給 水 装 置 工 事 検 査 申 込 書

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

申 込 者

氏名又は名称

住 所

代 表 者 氏 名

小田原市給水条例第 5 条第 2 項の規定による給水装置工事完了後の検査を受けたいので、次のとおり申し込みます。

給 水 装 置 工 事 の 種 類			
給 水 装 置 所 在 地	小田原市		
水 栓 番 号 (需 要 者 番 号)		給 水 装 置 の 種 類	
給 水 装 置 工 事 の 施 主	氏名又は名称 住 所		
工 事 着 手 年 月 日	令和 年 月 日		
工 事 完 成 年 月 日	令和 年 月 日		
建 物 名 称 等			
給 水 装 置 工 事 主 任 技 術 者 の 氏 名			

検 査 予 定 年 月 日	令和 年 月 日 検査員	印
---------------	--------------	---

第 号

課 長	副課長	係 長	担 当	担当者	月 日	給排水業務課

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

住所.....

申請者

氏名.....

水道利用加入金減免（免除）申請書

このことについて、別紙の給水装置工事申請による水道利用加入金を次の理由により、小田原市給水条例第 29 条の規定に基づき、減額（免除）を受けたく申請いたします。

給 水 装 置 設 置 場 所	小田原市		
旧 給 水 装 置 設 置 場 所	小田原市		
旧 水 栓 番 号		旧 需 要 者 番 号	
旧水道メーター口径		番 号	— —
中 止 年 月 日			
廃 止 年 月 日		施工業者	
施 工 業 者			
減 額（免 除）を 受 け よ う と す る 理 由			
添 付 書 類			

*	規 定 加 入 金	円 減額算式	
*	減 免 額	円	
*	徴 収 額	円	要綱算式

（注）＊印欄は、記入しないこと。

受付 第	号	令和	年	月	日
------	---	----	---	---	---

給水装置増設工事施行承認願（簡易）

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

住所
申 請 者
氏名

住所
工事施行者
氏名

次のとおり工事を施行したいので承認願います。

設計	メーター番号	栓・栓	需	量水器	mm	精算	
課長	設置場所	小田原市				水道技術管理者	
	住所						
副課長	所有者 ふりがな 氏名					課長	
	使用者氏名						
係長	設計年月日	令和	年	月	日	副課長	
	完成予定日	令和	年	月	日		
査定	市	納入通知	令和	年	月	日	係長
	納	納入月日	令和	年	月	日	
審査	金	設計審査手数料				円	査定
	工	水栓口数	旧	口・新	口		
受付	事						審査
	内						
	容						受付

給水装置工事主任技術者名	令和 年 月 日
印	完成検査に合格したことを証明する。
	検査員 印

小田原市上水道給水装置工事

事前施行申請書

係 長	担当者	給排水業務課

令和 年 月 日
受付 第 号

小田原市水道事業管理者 様

住所

工事施工者 氏名

給水装置工事主任技術者

給水装置工事の承認前に工事施行いたしたく次のとおり申請します。

(必ず 申込書(給水装置工事施行承認願)と同時に申請すること。)

給水装置工事申込住所	小田原市
給水装置工事申込者	
事前施行着手日	年 月 日
事前施行が必要な理由 (具体的に記入すること)	
給水装置工事施行承認願の提出日	同時・()
工事種類	新設・改造・増設・臨時・その他()

※ 給水装置工事施行承認願をコピーし、事前施行箇所を朱色で着色すること。

小田原市上水道給水装置工事施行 仮承認済書

令和 年 月 日
受付 第 号

様

小田原市水道事業
小田原市長

給水装置工事の事前施行については、下記の条件により仮承認いたします。

仮承認の条件

- 1. 給水装置工事施行について、7日以内に承認を受けること。
(承認とは、審査が終了し、設計審査手数料及び水道利用加入金が納金された時点である。)
- 2. 事前施行と給水装置工事施行承認願に異議が生じた場合には、必ず改修工事を行うこと。
- 3. その他()

給水装置工事申込住所	小田原市
給水装置工事申込者	
事前施行着手日	年 月 日

承認員 印

水道メーター等き損届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届出人 住所.....

氏名.....

今般、小田原市 に設置してありました水道メーターを当方の管理不行届
けにより、き損しましたので届け出ます。

なお、き損した水道メーターの損害については、当方にて賠償いたします。

支払者	住 所			
	氏 名		電話	
水栓番号	需要者番号	メーター口径	メーター番号	

合 計

メーター口径	φ	mm	個
メーター口径	φ	mm	個
メーター口径	φ	mm	個

指定給水装置工事事業者.....

令和 年 月 日

氏名 _____

なお、き損した水道メーターの損害については、当方にて賠償いたします。また、紛失した水道メーターが見つかった場合には、直ちに返却いたします。

支払者	住 所			
	氏 名		電話	
水栓番号	需要者番号	メーター口径	メーター番号	

合計

メーター口径	φ mm	個
メーター口径	φ mm	個
メーター口径	φ mm	個

指定給水装置工事事業者

様式第2号

給水装置工事変更・取消届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

工事施行者 住所.....

氏名.....印

次の給水装置工事の変更・取り消しをしたいので、届け出ます。

台 帳 受 付	令和 年 月 日 第 号		
工 事 の 種 別			
水 栓 番 号 (需 要 者 番 号)	()	給水装置 の種類	
給 水 装 置 所 在 地	小田原市		
届 出 人	住 所		
	氏 名		
変 更 又 は 取 消 し の 理 由			
備 考			

様式第4号

代 理 人 選 定 届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届 出 人 住所.....

氏名.....印

次のとおり届け出ます。

給 水 装 置 所 在 地		小田原市		
水 栓 番 号 (需 要 者 番 号)		給 水 装 置 の 種 類		
用 途 及 び 区 分				
所 有 者	住 所			
	氏 名			
代 理 人	住 所	小田原市		
	氏 名	印	電話	
	方 書			

子メーター設置工事申請 及び 施行承認願

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届 出 人 住 所

氏 名

電話番号

次のとおり工事の施工をしたいので承認願います。

建 物 の 名 称				
設 置 場 所	小田原市			
用 途 及 び 区 分	家庭用 () ・ 事業用 ()			
世 帯 数	世帯			
水 道 メ ー タ ー の 口 径 及 び 個 数	口径	mm	個数	個
	口径	mm	個数	個
	口径	mm	個数	個
工 事 完 了 年 月 日	令和 年 月 日			
関 係 図 書	別紙のとおり			

子メーターによる計量等申請書

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

届 出 人 住 所

氏 名

電話番号

建 物 の 名 称				
設 置 場 所	小田原市			
用 途 及 び 件 数	家庭用 件 ・ 事業用 件			
水 道 メ ー タ ー の 口 径 及 び 個 数	口径	mm	個数	個
	口径	mm	個数	個
	口径	mm	個数	個
指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者				
関 係 書 類	居住者名簿、誓約書、建物位置図、建物の平面図			
	給水系統図・給水管配管図・PS 詳細図・各室番号図			
	貯水タンク詳細図、貯水タンク容量計算書			

子メーターによる使用水量の計量 及び 水道料金の算定を希望しますので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第9号

課 長	副課長	係 長	担 当	担当者	月 日	給排水業務課

給 水 装 置 使 用 開 始 届

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

申込者 住所.....
氏名.....

次のとおり、届け出ます。

需要者（水栓）番号		用途	異動事由	受水槽	検針	受付・開始年月日		受付番号	
			10 開始 11 中止	有効 m ³	・	令和 年 月 日			
給水装置所在地		小田原市				業者No.	親子コード [*]		
使用 者	ふりがな 方 書								
						メーター口径	検・満年月日		
	ふりがな 氏 名				電話 () —		・		
						メーター番号			
納入 (料金支払) 者	住 所								
	ふりがな 方 書					メーター位置	取付指針		
							m ³		
	ふりがな 氏 名					地域コード [*]	配水池		
所 有 者	住 所					検針伝票 整 理			
	ふりがな 氏 名				電話 () —	マスター 確 認			
						マスター 整 理			
						水栓番号 台帳整理			

用途区分		親子コード		メ ー タ ー 位 置	概 略		詳 細 位 置								
1	普通、家庭用	01	親メーター (受水槽)		1	正面・左	11	門	23	ボイラ	34	受水槽	47	水のみ場	
2	特計、事業用	02	子メーター		2	左・手前	13	木戸	24	事務所	35	浄化槽	49	ベランダ	
					3	左・奥	14	庭	25	工場	36	トイレ	50	玄関	
3	特計、浴場用	03	親子メーター		4	裏・左	15	花壇	26	作業場	37	風呂場	51	ポスト	
					5	裏・右	17	車庫駐車場	27	店舗	38	台所	53	裏門	
4	普計、共用栓	04	親子メーター		6	右・奥	18	物屋	28	電柱	40	立上り	54	シャッタ	
					7	右・手前	19	小屋	29	畑	41	入口	55	側溝	
5	特計、臨時栓	05	大型メーター (50mm以上)		8	正面・右	20	倉庫・蔵	31	プロパン	42	脇	57	クーラー	
					9	屋内	21	階段	32	ガスメーター	43	角	58	勝手口	
							22	ポンプ	33	電気メーター	45	自転車置場	00	その他	

需要者番号	水栓番号	受付番号	検針伝票 整 理	マスター 確 認	マスター 整 理	水栓番号 台帳整理
水栓所在地	小田原市					
使 用 者	ふりがな 方 書					
	ふりがな 氏 名				電話 ()	
取外メーター	メーター口径	メーター番号			取外メーター指針	
		— —			m ³	
取外新メーター	メーター口径	メーター番号			新メーター指針	検・満年月日
		— —			m ³	年 月
認定区分	取替事由	メーター位置		取替年月日		
	06（改造）			令和 年 月 日		
用途区分	設備区分	受水槽			親子区分	指定業者No.
		有 効 m ³				

参—156

様式第 3 号

土地使用承諾書			
令和 年 月 日			
小田原市水道事業管理者 様			
土地所有者 住所			
氏名			印
私が所有する次の土地に水道管を布設し、無償で占有すること及び、当該地における漏水修理工事及び当該地を占有して、一般住宅への給水取出し工事（当該工事に伴う給水切替工事を含む。）を行う際の掘削及び占有工事について承諾します。 なお、この当該地を第三者に譲渡し、又は売り渡すときは、新たな権利者に対し、責任を持って水道管の埋設及び無償使用について説明いたします。			
市町村名	大字	字	地番

土地 使用 承諾 書

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

地番表記(大字・小字・地番)

私が所有する土地（小田原市 ）に水道管を布設し、無償で占有すること及び、当該地における漏水修理工事及び当該地を占有して、一般住宅への給水取出し工事（当該工事に伴う給水切替工事を含む。）を行う際の掘削及び占有工事について承諾します。

なお、この当該地を第三者に譲渡し、又は売り渡すときは、新たな権利者に対し、責任を持って水道管の埋設及び無償使用について説明いたします。

土地所有者

[illegible]

※ 相続予定人が署名・押印した場合は、別途 誓約書を提出する。

分岐（統合）同意書

（ 申 請 場 所 ）

今般、小田原市 地先の道路に
ついて、給水管を敷設しますが、将来、第三者が分岐（統合）
したい旨の申入れがあった場合は、これに承諾することを
同意いたします。

令和 年 月 日

住 所

氏 名

印

小田原市水道事業 小田原市長 様

誓 約 書

この度、小田原市_____地内において工事用給水装置工事（給水栓を1栓設ける工事）を申込みますが、建築計画が確定次第、必ず工事着手前に小田原市指定給水装置工事事業者を通じて給水装置工事の申込みを行い、施行承認を受けます。

小田原市上下水道局の指示に従わない場合には、小田原市水道給水条例に基づき給水を停止されても異議申し立てをいたしません。

また、当該給水装置について売買契約等により所有者変更がある場合にも、上記誓約のすべてを継承します。

給水装置設置場所 小田原市

給水装置事業社名 _____

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

給水装置工事申込者 住 所

氏 名

印

誓 約 書

この度、下記地内において給水管を取出す工事（分譲管工事 ○箇所）を行いますが、将来計画の変更等で、当該工事にて施工した給水管が不要になった場合は撤去し、給水管に不具合や口径に変更が生じた場合には自費にて改修いたします。

なお、売買契約や譲渡等により所有者変更がある場合には、撤去も含め維持管理の責務について第三者に継承することを誓約いたします。

工事内容

1. 給水管取出し場所 小田原市

2. 給水管取出し管種・口径 管の材質 口径 mm

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

給水装置工事申込者 住 所

氏 名 印

誓 約 書

小田原市 において施行する

給水装置工事につきましては、水の出の不良については、一切市上下水道局に対し、苦情は申しません。

また、水の出が不良のときは、自費をもって給水装置及び引込み管を改良いたします。

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

給水装置工事申込者 住 所

氏 名

印

誓 約 書

私は、小田原市水道事業管理者より貸与された水道メーターを、管理者が指定する位置に私の費用で設置し、維持管理いたします。

なお、給水装置に付帯する水道メーターから算出された使用水量が、貯水槽水道に付帯する水道メーターの使用水量の合計量を超える場合は、その超えた使用水量の水道料金を小田原市水道事業管理者にお支払いをいたします。

また、当該給水装置について売買契約等により所有者変更がある場合にも、上記誓約のすべてを継承します。

令和 年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

給水装置工事申込者 住 所

氏 名

電話番号

直結増圧式給水条件承諾書

年 月 日

小田原市水道事業管理者 様

住 所
申請者
氏 名 印

直結増圧式給水を実施するに際し、次の条件を遵守することを承諾いたします。

- 1 増圧給水設備を含め、給水設備の維持管理については、1 年以内ごとに 1 回の定期点検を行い、当方にて管理責任者及び維持管理者を定め適正に行います。

給水装置の設置場所	小田原市 名 称
建物の管理責任者	住 所 氏 名 印 TEL
給水装置の維持管理者	住 所 氏 名 印 TEL
増圧給水設備の維持管理者	住 所 氏 名 印 TEL

- 2 入居者に対しては当方において、直結増圧給水による給水方式であることを説明し、上記管理責任者等を周知させるとともに、水道管の取替え工事、漏水修理工事及び事故等による断水及び減水時の入居者への広報、及びそれに伴うバルブ操作を含む増圧給水設備の管理についても、管理責任者により常時対応します。
- 3 増圧給水設備に起因して、逆流又は漏水が発生し、市又は第三者に損害を与えた場合には、責任をもって補償いたします。また、紛争等につきましても、全て当事者間で解決し、市に対して一切苦情を申しません。
- 4 既設配管を使用する場合、上記項目のほか、将来これにより問題が生じましても、当方において適正に対処します。
- 5 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに給水装置所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、管理責任者、維持管理者に変更が生じた場合も、速やかに連絡します。
- 6 上記項目のほか、取扱い上なお必要な事項については、小田原市水道給水条例及び同施行規程、給水装置工事設計施工指針、及びその他関係法令を遵守して施工いたします

既設給水管使用確認書

小田原市上下水道局給排水業務課長 様

この度、既設給水管を使用して給水装置工事を施工いたしますが施工に先立ち、
既設給水管が使用可能か確認を行ない、その状態について工事申込者へ説明を行ってか
ら着手いたします。

給水装置工事箇所 小田原市

既設給水管	管種	管径	施工年度（	年度）
	管種	管径	施工年度（	年度）

令和 年 月 日

工事施行者

所在地

商号又は名称

代表者

整理番号

—

受水槽管理簿

1	地 区	地区									
2	フ リ ガ ナ 施 設 名										
3	設 置 場 所	小田原市					明細地図				
4	需 要 者 番 号						5	水 栓 番 号			
6	建 築 構 造	1：鉄筋・鉄骨コンクリート造 2：木造 3：その他（ ）									
7	建築延べ面積						8	ビル管理法による特定建築物の有無			有・無
9	有 効 容 量	9				10	たて m×よこ m×高さ m				
10		m ³	低 置 タ ン ク	有効容量 m ³							
11				タンク構造 1. RC 2. FRP 3. 鋼製 4. その他（ ）							
設置場所 1. 屋内 2. 屋外 3. その他 （ ）											
方式 1. 地上式 2. 地下式 3. 半地下											
12	種 類	1 専用水道 2 簡易専用水道 3 小規模受水槽水道 ア 8 m ³ を超える イ 8 m ³ 以下 4 専ら1戸の住宅			11	たて m×よこ m×高さ m					
					高 置 タ ン ク	有効容量 m ³					
						タンク構造 1. RC 2. FRP 3. 鋼製 4. その他（ ）					
						設置場所 1. 屋内 2. 屋外 3. その他 （ ）					
13	階 数	地上 階 地下 階									
14	維 持 管 理 者	住 所	〒								
		氏 名									
		電 話					Fax				
15	用 途 目 的	1 一般住宅（共同住宅、社宅、寮等店舗営業を含まないもの） 2 営業施設（会社、工場、事務所、商店、遊技場、浴場、ホテル等を含まないもの） 3 店舗併用住宅 4 公共施設 5 その他（病院、クリニック、老人ホーム、養護施設等の上記以外の建物） 6 高台住宅 7 飲料水以外									
16	区 分	1：公共 2：一般									
17	給 水 方 式	1：高置水槽式 2：ポンプ直送式									
18	検 針 方 法	1：一括検針 2：各戸検針									
19	メーター個数	親メーターは含まない 個					20	直結栓数 個			
21	所 有 者	住 所	〒								
		氏 名									
		電 話					Fax				
22	しゅん工年月日	年 月 日			25	工 事 事 業 者 及 び 主 任 技 術 者	指定給水雄地工事事業者の住所・名称・電話番号 給水装置工事主任技術者氏名				
23	取 出 し 口 径	本管（φ ）× 支管（φ ）									
24	備 考	旧整理番号									

26 施設の管理状況

H22 アンケート回答

平成 23 年	水槽等の定期検査	実施している ・ していない
	水槽等の定期点検	実施している ・ していない
	給水装置等の月例点検	実施している ・ していない
	水質検査の実施	実施している ・ していない
	管理状況の記録	ある ・ ない

年 1 回の法定検査

3－2 特殊な事例の誓約書 記載例

- ・ 共有管の同意が得られない(死亡等)場合の誓約書 例文
- ・ 相続未了、所有者不明の分譲管から分岐する際の誓約書 例文
- ・ 相続未了の給水装置からの支管分岐に係る誓約書 例文
- ・ 相続未了用地の誓約書（引継いで施工する場合） 例文
- ・ 相続未了用地の誓約書（相続予定人等が承認する場合） 例文
- ・ 他者所有地へ残存管を行う場合の誓約書 例文
- ・ 代理申請の場合の誓約書 例文
- ・ 個別減圧弁設置の場合の誓約書 例文

年 月 日

誓 約 書

別紙、分岐承諾書において、小田原市（所在地の住所）（管種・口径）の共有者のうち、（共有名義人のうち承諾の得られない方の氏名）の承諾を得ることが出来ませんでした。

今後、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、売買契約や譲渡等により、権利者の変更がある場合は、新たな権利者に対し責任を持って説明し、誓約内容を継承することを誓約いたします。

給水装置工事申込者

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

故 ○○ ○○が所有していた分譲管 第○○○○の権利については、□□ □□が引き継ぎ、維持管理を行います。

なお、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、当該 分譲管を第三者に譲渡し、または売り渡すときは新たな権利者に対し、責任を持って上記 誓約内容が継承される旨説明し、了承を得ます。

申請者署名欄

住所

氏名

印

関係利害人

住所

氏名

印

住所

氏名

印

年 月 日

誓約書

故 が所有していた給水装置（小田原市 水栓番号 、需要者番
号 ）の権利については現在未解決ではありますが、 が引き継ぐものとして給水
装置工事申請を行うことについて承諾します。

なお、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても

小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、当該地を第三者に譲渡し、または売り渡すときは新たな権利者に対し、責任を持って水道管の埋設及び無償使用について説明いたします。

給水装置工事申込者

住所

印

共有者・相続予定人

住所

印

住所

印

住所

印

年 月 日

誓 約 書

故 ○○ ○○が所有していた土地（小田原市○○字××－－－）の権利については、
□□ □□が引き継ぎ、給水装置工事申請を行います。

なお、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、当該地を第三者に譲渡し、または売り渡すときは新たな権利者に対し、責任を持って水道管の埋設及び無償使用について説明いたします。

給水装置工事申込者

住所

氏名

印

関係利害人

住所

氏名

印

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

故 ○○ ○○が所有していた土地（小田原市○○字××－－－）の権利については現在未解決であります、□ □□が行う給水装置工事において水道管を布設し、無償で占有すること及び、当該地における漏水修理工事及び当該地を占有して一般住宅への給水取出し工事（当該工事に伴う給水切替工事を含む。）を行う際の掘削及び占有工事について承諾します。

なお、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、当該地を第三者に譲渡し、または売り渡すときは新たな権利者に対し、責任を持って水道管の埋設及び無償使用について説明いたします。

共有者・相続予定人

住所

氏名

印

住所

氏名

印

住所

氏名

印

住所

氏名

印

給水装置工事申込者

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

（給水管の残存する地所の土地所有者氏名）氏所有の小田原市（給水管の残存許可を得る地所の地番）に布設されている私所有の既設給水管（ 管種・口径 ）については、権利者間で協議し、撤去せず存置することとしました。

また、今後、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

なお、売買契約や譲渡等により、権利者の変更がある場合は、新たな権利者に対し責任を持って説明し、誓約内容を継承することを誓約いたします。

給水装置工事申込者

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

（給水管の残存する地所の土地所有者氏名）氏所有の小田原市（給水管の残存許可を得る地所の地番）に布設されている私所有の既設給水管（ 管種・口径 ）については、権利者間で協議し、撤去せず存置することとしました。

また、今後、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますので、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

なお、売買契約や譲渡等により、権利者の変更がある場合は、新たな権利者に対し責任を持って説明し、誓約内容を継承することを誓約いたします。

給水装置工事申込者

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

小田原市（ 地番表記 ）の土地所有者 ○○ ○○氏は、（ 理由 ）のため、
本人の直筆署名・押印による承諾を得ることが時間的制約により困難であります。

しかしながら、別添「委任状（写）」のとおり、○○ ○○氏より（代理申請者 氏名）
が、本件給水装置工事及び 配水管譲渡にかかる一切の権限について委任されていること
から、代理人として○○ ○○氏に代わり、関係書類への承諾を行ないます。

今後、これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますの
で、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し異議等申し立ていたしません。

また、売買契約や譲渡等により、権利者の変更がある場合は、新たな権利者に対し責任
を持って説明し、誓約内容を継承することを誓約いたします。

年 月 日

誓約者

住所

氏名

印

年 月 日

誓 約 書

減圧弁を設置しますが、減圧弁についての維持管理は、当方で責任をもって行い、また、減・断水等によ
り故障及び水質の異常等これに関わる一切の諸問題については、当方にて責任を持って処理いたしますの
で、事後的に問題が生じても小田原市上下水道局に対し苦情等申し立ていたしません。

給水装置工事申込者

住所

氏名

印



断水のため
使用できません

CAN NOT USE DUE TO WATER OUTAGE

断水のお知らせ

〇〇給水管撤去工事のため、止むを得ず、お宅様がご使用されている水道を一時的に止めさせていただきます。つきましては、断水作業中、何かとご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆断水日時

令和〇年〇〇月〇〇日（月）

午後1時30分から午後4時00分まで

（雨天により中止の場合は、再度お知らせいたします。）

◆工事箇所

小田原市〇〇〇〇番地 地先（裏面位置図参照）

◆断水区域

小田原市〇〇〇〇番地～〇〇番地 地先（裏面位置図参照）

◆交通規制

車両通行止め（作業時のみ規制）

※お願い

- あらかじめ、水を容器等にくみおき下さい。
- 受水槽（タンク）・深夜電力等を利用した貯湯用タンク等を使用されている方は、元バルブを締めてにがり等が入らないようにして下さい。断水終了後再使用する場合は、元バルブを開けてから使用して下さい。また貯湯用タンクを断水中に使用する場合には説明書をご覧下さい。

※断水等の詳しい情報はホームページでもご覧いただけます。

詳しくはこちらをチェック👉



施工業者

上下水道局

株式会社〇〇設備

給排水業務課審査係

担当：××

担当：〇〇

電話

電話

例題 直結直圧式（4階建物 24戸）の計算例

Figure 1 is a schematic diagram of a water supply system. The system consists of a main pipe (φ 50mm) and a branch pipe (φ 100). The main pipe is 33.0m long. The branch pipe is 2.0m long. The main pipe has a vertical section of 12.6m and a horizontal section of 33.0m. The branch pipe is connected to the main pipe at a saddle valve (サドル分水栓). The main pipe has a valve (仕切弁) at the end. The branch pipe has a valve (仕切弁) at the end.

[illegible]

水理計算書				
受付番号	《局 検算》			
施工場所	小田原市 ○○丁目□□番××号			
建物概要	共同住宅	階数	4	戸数 24
給水装置施工業者	株式会社 ○○設備			

損失水頭の計算

添付

区間及び器具	口径 mm	戸・栓 数	同 時 水栓個	使用水量 栓等 ℓ/S	流量 ℓ/s	管延長 m	動水勾配 ‰	損失水頭 m
B サドル分水栓 100×50	50	24			2.7	6.00	44	0.2640
仕切弁 ×1	50	24			2.7	0.39	44	0.0172
チーズ（直）×1	50	24			2.7	0.60	44	0.0264
エルボ ×3	50	24			2.7	6.30	44	0.2772
直管部 35.0m	50	24			2.7	35.00	44	1.5400
C チーズ（直）×1	50	16			2.0	0.60	26	0.0156
直管部 12.6m	50	16			2.0	12.60	26	0.3276
D エルボ ×1	50	8			1.4	2.10	14	0.0294
直管部 12.6m	50	8			1.4	12.60	14	0.1764
異径接合 50×40	40	8			1.4	1.00	40	0.0400
チーズ（直）×1	40	8			1.4	0.45	40	0.0180
直管部 1.0m	40	8			1.4	1.00	40	0.0400
E チーズ（直）×1	40	6			1.3	0.45	35	0.0158
直管部 2.7m	40	6			1.3	2.70	35	0.0945
F チーズ（直）×1	40	4			1.1	0.45	26	0.0117
直管部 2.7m	40	4			1.1	2.70	26	0.0702
G チーズ（曲）×1	40	2			0.9	2.10	18	0.0378
直管部 2.7m	40	2			0.9	2.70	18	0.0486
H 異形接合 40×25	25	2			0.9	0.50	161	0.0805
チーズ（直）×1	25	2			0.9	0.27	161	0.0435
直管部 1.0m	25	2			0.9	1.00	161	0.1610
① 異形接合 25×20	20	7栓	3栓	0.6	0.6	0.50	220	0.1100
副止水栓 ×1	20	7栓	3栓	0.6	0.6	0.15	220	0.0330
メーター ×1	20	7栓	3栓	0.6	0.6	8.00	220	1.7600
逆止弁 ×1	20	7栓	3栓	0.6	0.6	4.00	220	0.8800
エルボ ×2	20	7栓	3栓	0.6	0.6	1.50	220	0.3300
チーズ（直）×1	20	7栓	3栓	0.6	0.6	0.24	220	0.0528
直管部 5.5m	20	7栓	3栓	0.6	0.6	5.50	220	1.2100
② チーズ（直）×1	20	6栓	3栓	0.6	0.6	0.24	220	0.0528
直管部 2.5m	20	6栓	3栓	0.6	0.6	2.50	220	0.5500
③ チーズ（直）×1	20	4栓	2栓	0.4	0.4	0.24	108	0.0259
直管部 2.0m	20	4栓	2栓	0.4	0.4	2.00	108	0.2160
								0.0000
								0.0000
計								8.5559

区画及び器具による損失（安全率10%）	8.5559	×	1.1	=	9.41 m
立ち上りによる損失	2.0+1.0+2.7+2.7+2.7+1.0				12.1 m

残存水頭	35	-	(9.41 + 12.1)	=	13.49 m
------	----	---	-----------------	---	---------

水理計算書				
受付番号	《局 検算》			
施工場所	小田原市 ○○丁目□□番××号			
建物概要	共同住宅	階数	4	戸数 24
給水装置施工業者	株式会社 ○○設備			

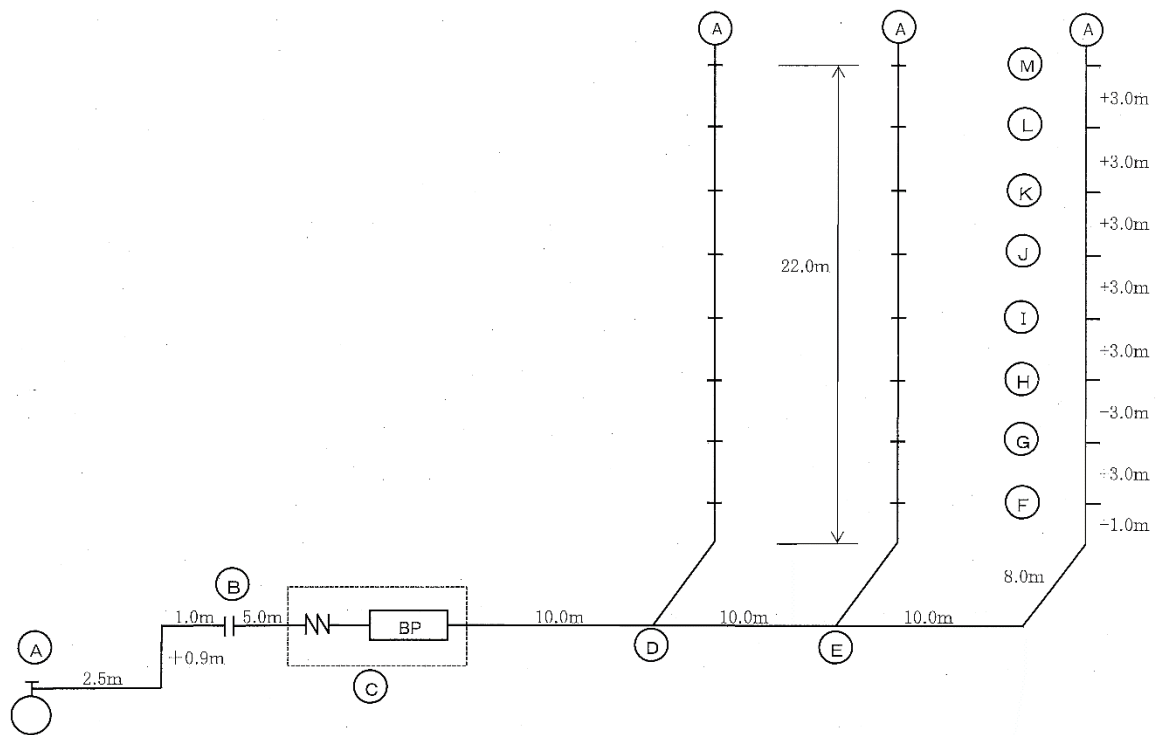
損失水頭の計算

[illegible]

区画及び器具による損失（安全率１０％）	10.3086	×	1.1	=	11.34	m
立ち上りによる損失	2.0+1.0+2.7+2.7+2.7+1.0				12.1	m

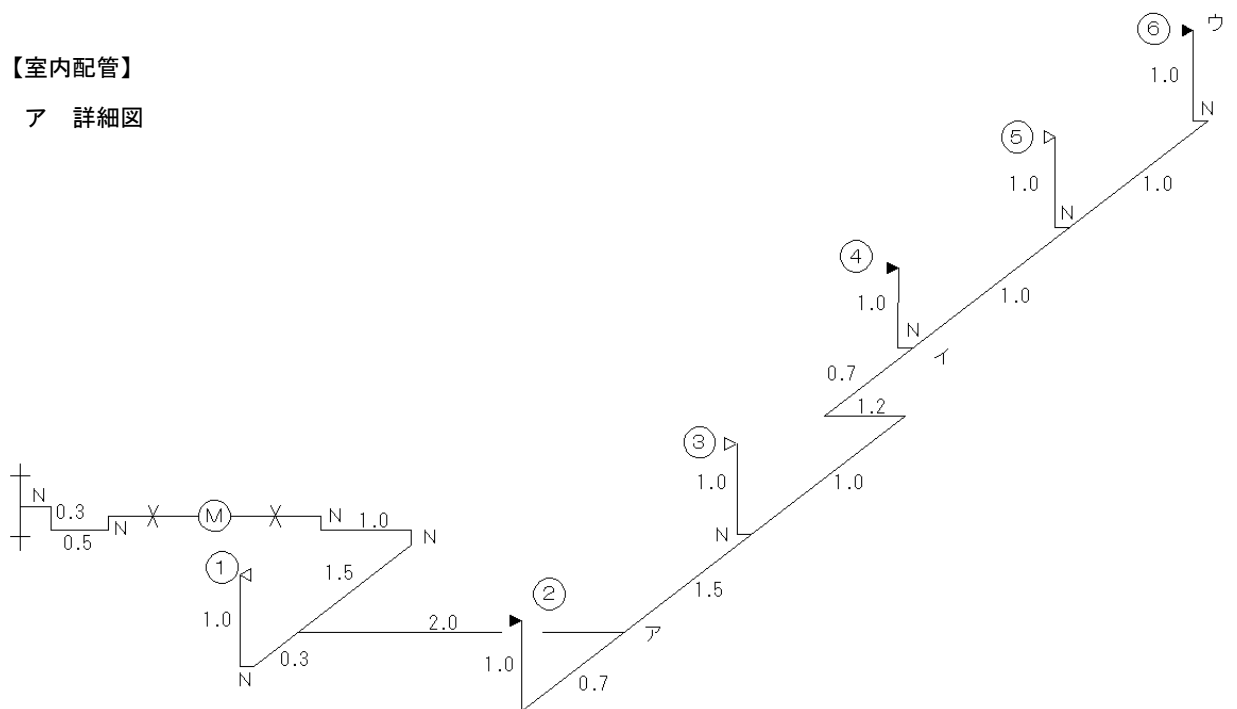
殘存水頭	35	-	(	11.34	+	12.1)	=	11.56	m
------	----	---	---	-------	---	-------	---	-------	---

例題 直結増圧式（8階建物 40戸）の計算例



【室内配管】

ア 詳細図



用 途	口径 (mm)	同時使用	使用水量 (L/min)
①浴槽（洋式）	13		30
②ロータンク（便所用）	13	使 用	12
③混合水栓（洗面用）	13		8
④自在水栓（洗濯用）	13	使 用	12
⑤ハンドシャワー付混合水栓	13		8
⑥混合水栓（台所用）	13	使 用	12
		3 栓	36

【共同住宅の場合】

【計算条件】 建物概要：8階建て（22m）・40戸 設計水圧：0.35Mpa

（１） 使用水量

1戸当たりの1日最大使用水量：1 m³/日

建物全体の使用水量：40戸×1 m³/日＝40m³/日

（２） 同時使用水量

戸数から同時使用水量を予測する算定方式より

$$40 \text{ 戸} = 225\text{L}/\text{min}$$

（３） 各圧力損失の計算

- ① 増圧設備口径はφ50 mmとする。
- ② 給水管口径は、管内流速を考慮しφ50 mmとする。
- ③ 管末部の室内配管（1戸）については、用途別使用水量×同時使用率により計算を行う。
- ④ 各継手等については、直管換算を行い、損失水頭を求める。
- ⑤ 増圧給水設備の圧力損失は、製造メーカーの資料等から求める。

計算例

1 使用水量

（１） 各区間の使用水量 （戸数から同時使用水量を予測する算定方式より）

A～B間

$$Q = 19 \times 40^{0.67} = 225\text{L}/\text{min}$$

B～C間

$$Q = 19 \times 40^{0.67} = 225\text{L}/\text{min}$$

C～D間

$$Q = 19 \times 40^{0.67} = 225\text{L}/\text{min}$$

D～E間

$$Q = 19 \times 24^{0.67} = 160\text{L}/\text{min}$$

E～F間

$$Q = 42 \times 8^{0.33} = 83\text{L}/\text{min}$$

F～G間

$$Q = 42 \times 7^{0.33} = 80\text{L}/\text{min}$$

G～H間

$$Q = 42 \times 6^{0.33} = 76\text{L}/\text{min}$$

H～I間

$$Q = 42 \times 5^{0.33} = 71\text{L}/\text{min}$$

I～J間

$$Q = 42 \times 4^{0.33} = 66\text{L}/\text{min}$$

J～K間

$$Q = 42 \times 3^{0.33} = 60\text{L}/\text{min}$$

K～L間

$$Q = 42 \times 2^{0.33} = 53\text{L}/\text{min}$$

L～M間

$$Q = 42 \times 1^{0.33} = 42\text{L}/\text{min}$$

（２） 1戸当たりの使用水量

（同時に使用する給水用具を設定して算出）

M～ア間

$$Q = 3 \text{ 栓} (12\text{L}/\text{min} + 12\text{L}/\text{min} + 12\text{L}/\text{min}) = 36\text{L}/\text{min}$$

ア～イ間

$$Q = 2 \text{ 栓} (12\text{L}/\text{min} + 12\text{L}/\text{min}) = 24\text{L}/\text{min}$$

イ～ウ間

$$Q = 1 \text{ 栓} (12\text{L}/\text{min}) = 12\text{L}/\text{min}$$

2 各区間の給水延長及び直管換算長

（直管換算値については、製造会社の資料等による。）

A～B間

直管延長

$$\phi 50 \text{ mm} = 4.40\text{m}$$

サドル分水栓

$$\phi 50 \text{ mm} = 6.00\text{m}$$

エルボ		$\phi 50 \text{ mm}=4.20\text{m}$
仕切弁		$\phi 50 \text{ mm}=0.39\text{m}$
小 計	L=14.99m	

B～C間

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=5.00\text{m}$
小 計	L=5.00m	

(増圧給水設備の直管換算は、損失水頭がメーカーにより指定されているため、換算しない。)

C～D間

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=10.00\text{m}$
チーズ (直進)		$\phi 50 \text{ mm}=0.60\text{m}$
小 計	10.60m	

D～E間

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=10.00\text{m}$
チーズ (直進)		$\phi 50 \text{ mm}=0.60\text{m}$
小 計	10.60m	

E～F間

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=19.00\text{m}$
チーズ (直進)		$\phi 50 \text{ mm}=0.60\text{m}$
エルボ (2個)		$\phi 50 \text{ mm}=4.20\text{m}$
小 計	23.80m	

F～G間からK～L間はそれぞれ

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=3.00\text{m}$
チーズ (直進)		$\phi 50 \text{ mm}=0.60\text{m}$
小 計	3.60m	

L～M間

直管延長		$\phi 50 \text{ mm}=3.00\text{m}$
チーズ (曲げ)		$\phi 50 \text{ mm}=2.10\text{m}$
小 計	5.10m	

M～ア間

異径接合 ($\phi 50 \times \phi 20$)		$\phi 20 \text{ mm}=0.50\text{m}$
直管延長		$\phi 20 \text{ mm}=5.30\text{m}$
副止水栓		$\phi 20 \text{ mm}=0.15\text{m}$
メーター		$\phi 20 \text{ mm}=8.00\text{m}$
逆止弁		$\phi 20 \text{ mm}=4.00\text{m}$
エルボ (8個)		$\phi 20 \text{ mm}=6.00\text{m}$
チーズ (曲げ) 2個		$\phi 20 \text{ mm}=2.40\text{m}$
小 計	26.35m	

ア～イ間

直管延長		$\phi 20 \text{ mm}=4.40\text{m}$
チーズ (直進) 2個		$\phi 20 \text{ mm}=0.48\text{m}$
エルボ (2個)		$\phi 20 \text{ mm}=1.50\text{m}$
小 計	6.38m	

イ～ウ間

直管延長		$\phi 20 \text{ mm}=3.00\text{m}$
チーズ (直進) 1個		$\phi 20 \text{ mm}=0.24\text{m}$
エルボ (2個)		$\phi 20 \text{ mm}=1.50\text{m}$
異径接合 ($\phi 20 \times \phi 13$)		$\phi 13 \text{ mm}=0.50\text{m}$
水栓		$\phi 13 \text{ mm}=3.00\text{m}$
小 計	8.24m	

3 各区間の損失水頭

A～B間

使用水量 **225L/min** 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 **79.1‰**になる。
 $V=Q/A$ により $V=(225\text{L/min} \div 1,000 \div 60) \div (\pi \times 0.05\text{m}^2 \div 4) = 1.91\text{m/s}$

$$H = I \times L \text{ により } H = 79.1\text{‰} \div 1,000 \times 14.99\text{m} = 1.18\text{m}$$

B～C間

使用水量 225L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 79.1‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 1.91\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 79.1\text{‰} \div 1,000 \times 5.00\text{m} = 0.40\text{m}$$

C 増圧給水設備の圧力損失（メーカー資料より）

$$H = 9.30\text{m} \quad (\text{内 減圧式逆流防止器の圧力損失} = 7.00\text{m})$$

C～D間

使用水量 225L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 79.1‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 1.91\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 79.1\text{‰} \div 1,000 \times 10.60\text{m} = 0.84\text{m}$$

D～E間

使用水量 160L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 43.1‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 1.36\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 43.1\text{‰} \div 1,000 \times 10.60\text{m} = 0.46\text{m}$$

E～F間

使用水量 83L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 13.4‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.70\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 13.4\text{‰} \div 1,000 \times 23.80\text{m} = 0.32\text{m}$$

F～G間

使用水量 80L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 12.8‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.68\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 12.8\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.05\text{m}$$

G～H間

使用水量 76L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 11.8‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.65\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 11.8\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.05\text{m}$$

H～I間

使用水量 71L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 10.3‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.60\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 10.3\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.04\text{m}$$

I～J間

使用水量 66L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 9.1‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.56\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 9.1\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.04\text{m}$$

J～K間

使用水量 60L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 7.8‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.51\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 7.8\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.02\text{m}$$

K～L間

使用水量 53L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 6.3‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.45\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 6.3\text{‰} \div 1,000 \times 3.60\text{m} = 0.02\text{m}$$

L～M間

使用水量 42L/min 口径 50 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 4.3‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.36\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 4.3\text{‰} \div 1,000 \times 5.10\text{m} = 0.02\text{m}$$

M～ア間

使用水量 36L/min 口径 20 mmをウェストン公式流量図より、動水勾配 219.7‰になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 1.91\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 219.7\% \div 1,000 \times 26.35\text{m} = 5.79\text{m}$$

ア～イ間

使用水量 24L/min 口径 20 mm をウェストン公式流量図より、動水勾配 107.4% になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 1.27\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 107.4\% \div 1,000 \times 6.38\text{m} = 0.68\text{m}$$

イ～ウ間

使用水量 12L/min 口径 20 ・ 13 mm をウェストン公式流量図より、動水勾配 33.0 ～ 229.1% になる。

$$V = Q / A \text{ により } V = 0.64 \sim 1.51\text{m} / \text{s}$$

$$H = I \times L \text{ により } H = 33\% \sim 229.1\% \div 1,000 \times 8.24\text{m} = 0.96\text{m}$$

4 計算結果

(1) 各区間の損失水頭を表で示す。

区 間	口径 (mm)	延長 (m)	流量 (L/min)	流速 (m/s)	動水勾配 (‰)	損失水頭 (m)	高低差 (m)	所要水頭 (m)
A～B間	50	14.99	225	1.91	79.1	1.18	0.90	2.08
B～C間	50	5.00	225	1.91	79.1	0.40	0.00	0.40
C	50							9.30
小 計 ①						1.58	0.90	11.78
C～D間	50	10.60	225	1.91	79.1	0.84	0.0	0.84
D～E間	50	10.60	160	1.36	43.1	0.46	0.0	0.46
E～F間	50	23.80	83	0.70	13.4	0.32	1.0	1.32
F～G間	50	3.60	80	0.68	12.8	0.05	3.0	3.05
G～H間	50	3.60	76	0.65	11.8	0.05	3.0	3.05
H～I間	50	3.60	71	0.60	10.3	0.04	3.0	3.04
I～J間	50	3.60	66	0.57	9.4	0.04	3.0	3.04
J～K間	50	3.60	60	0.51	7.8	0.02	3.0	3.02
K～L間	50	3.60	53	0.45	6.3	0.02	3.0	3.02
L～M間	50	5.10	42	0.36	4.3	0.02	3.0	3.02
M～ア間	20	26.35	36	1.91	219.7	4.86	0.0	5.79
ア～イ間	20	6.38	24	1.27	107.4	0.68	0.0	0.68
イ～ウ間	20-13	8.24	12	0.64~1.51	33~229.1	0.96	1.0	1.96
小 計 ②						9.29	23.00	32.29
合 計 (①+②)						10.87	23.90	44.07

(2) 増圧給水設備の吐出圧の設定

直結増圧式給水の動水勾配線図から吐水圧は次のようになる。

P_0 : 配水管圧力 (設計水压)	= 0.35Mpa (35.71m)
P_1 : 配水管と増圧給水設備との高低差	= 0.90m
P_2 : 増圧給水設備上流側の給水管及び給水用具の圧力損失	= 1.58m
P_3 : 増圧給水設備の圧力損失	= 9.30m
P_4 : 増圧給水設備下流側の給水管及び給水用具の圧力損失	= 9.29m
P_5 : 末端最高位の給水用具を使用するために必要な圧力【余裕水压】	= 5.00m
P_6 : 増圧給水設備と末端最高位の給水用具の高低差	= 23.00m

ここで、増圧給水設備の吐水圧 (P_7)、増圧ポンプの全揚程 (P_8) は、次式により算される。

$$P_7 : \text{増圧給水設備の吐水圧} = P_4 + P_5 + P_6 = 37.29\text{m}$$

$$P_8 : \text{増圧ポンプの全揚程} = P_7 - \{P_0 - (P_1 + P_2 + P_3)\} = 14.07\text{m}$$

増圧給水設備は、給水量 225L/min、全揚程 (P_8) 0.12Mpa を満足し、かつ過大とならないものを選択する。

また、配水管から増圧給水設備まで損失を考慮した圧力は

$$P_0 - (P_1 + P_2 + P_3) = 35.71\text{m} - (0.90\text{m} + 1.58\text{m} + 9.30\text{m}) = 23.22\text{m} \approx 0.24\text{Mpa}$$

となる。

増圧給水設備の自動停止圧が 0.07Mpa (=7.0m) < 0.24Mpa であるため、仮定どおりの増圧給水設備の設置位置及び口径は適当である。

3－5 水理計算時の根拠

※ 瞬時最大負荷流量（同時使用水量）

10 戸未満	$Q=42N^{0.33}$
10 戸以上 600 戸未満	$Q=19N^{0.67}$
600 戸以上	$Q=2.8N^{0.97}$
ここに、	
Q=瞬時最大負荷流量 (ℓ/min)	
N=住戸数 (戸)	

※ 器具類損失水頭の直管換算表

種別	口径(mm)						
	13	16	20	25	40	50	75
サドル付分水栓	—	—	2.00	3.00	—	6.00	—
不断水割T字管	—	—	—	—	—	6.00	8.00
改良止水栓(乙型)	—	—	0.15	0.18	—	—	—
メーター	3.00	—	8.00	12.00	19.00	20.00	25.00
逆止弁	3.00	—	4.00	6.00	11.00	32.00	5.70
仕切弁・スルースバルブ	0.12	0.12	0.15	0.18	0.24	0.39	0.63
チーズ(直進方向)	0.18	0.18	0.24	0.27	0.45	0.60	0.90
チーズ(曲げ方向)	0.90	0.90	1.20	1.50	2.10	3.00	4.50
エルボ	0.60	0.60	0.75	0.90	1.50	2.10	3.00
ボールタップ等	4.50	—	6.00	7.50	11.00	15.00	24.00
異径接合(減径)	0.50	0.50	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00
給水栓	3.00	—	4.00	5.00	11.00	15.00	—

※ 同時使用による瞬時最大流量及び給水管口径早見表

住戸数	2	3	4	5	6	7	8	9
流量ℓ/sec	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5
管内流速が 適正な管径	Pe25mm以上	φ 40mm以上						

住戸数	10	11	12	13	14	15	16	17
流量ℓ/sec	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.0	2.1
管内流速が 適正な管径	φ 40mm以上					φ 50mm以上		

住戸数	18	19	20	21	22	23	24	25
流量ℓ/sec	2.2	2.3	2.4	2.4	2.5	2.6	2.7	2.7
管内流速が 適正な管径	φ 50mm以上							

住戸数	26	27	28	29	30	31	32	33
流量ℓ/sec	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	3.2	3.4	3.5
管内流速が 適正な管径	φ 50mm以上					φ 75mm以上		

住戸数	38	40	60	80	90	100	200	300
流量ℓ/sec	3.6	3.8	4.9	6.0	6.5	6.9	11.0	14.5
管内流速が 適正な管径	φ 75mm以上					144戸～φ 100mm以上		

(注) 表中の管内流速による適正な管径とは、流量から単純に算出した最小口径であり、給水管口径を決定する場合には、現場条件の損失水頭等を考慮すること。

※ 同時使用率を考慮した給水栓 (水道施設設計指針参照)

水栓数	同時使用水栓数	同時使用率を考慮した設計水量(ℓ/min)
1	1	12 (0.20/s)
2～4	2	24 (0.40/s)
5～10	3	36 (0.60/s)
11～15	4	48 (0.80/s)
16～20	5	60 (1.00/s)
21～30	6	72 (1.20/s)

※ 動水勾配早見表

太線内がV=2.0m/sec以内の範囲

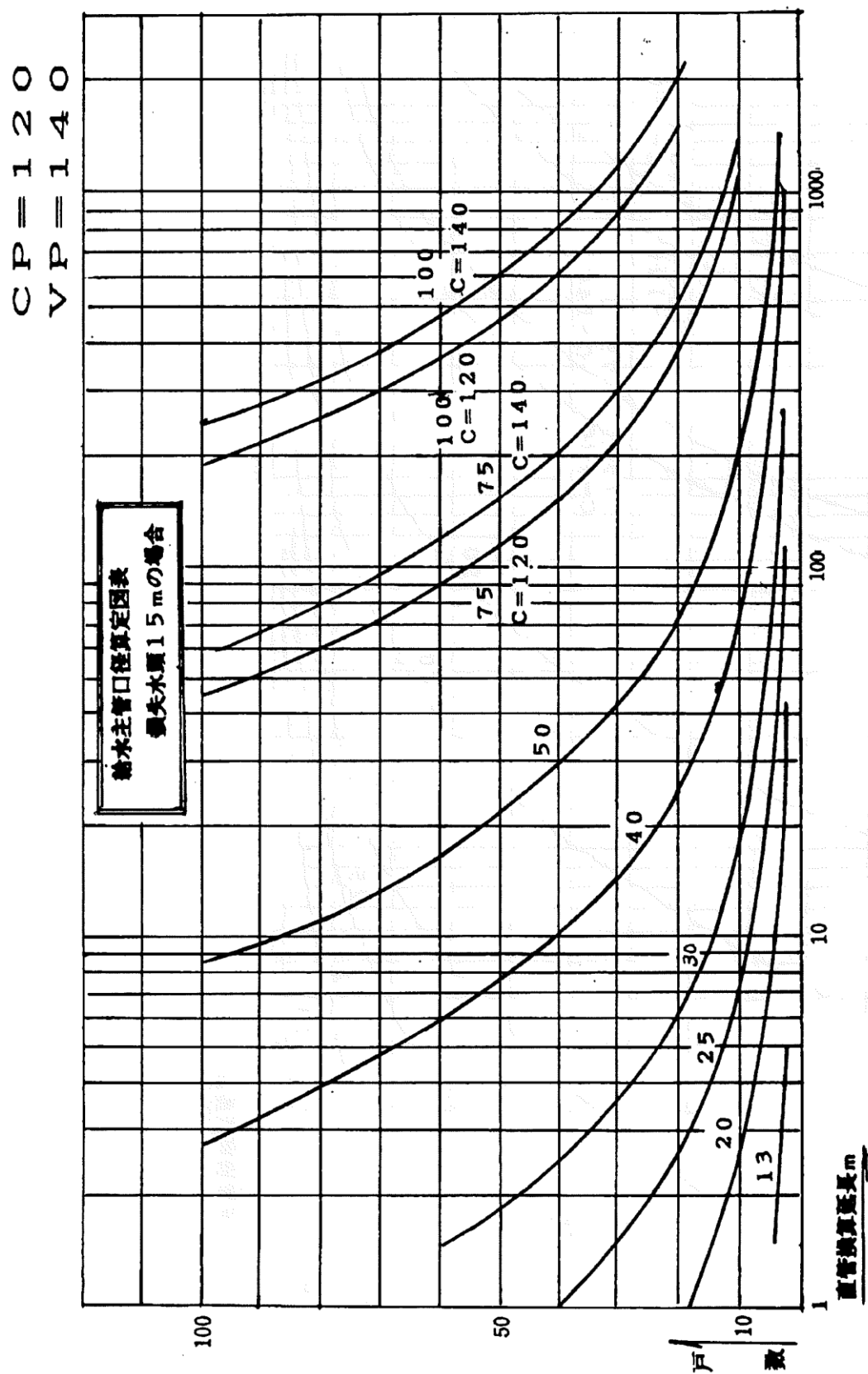
流量 (ℓ/sec)	動水勾配(‰)							流量 (ℓ/sec)
	φ 13	φ 16	φ 20	φ 25	φ 40	φ 50	φ 75	
0.1	69	28	10	3.8	0.5	0.2		0.1
0.2	228	89	33	12	1.5	0.5		0.2
0.3	466	181	66	24	2.9	1.0		0.3
0.4	777	299	108	39	4.6	1.7		0.4
0.5		445	159	57	6.7	2.4		0.5
0.6		616	220	79	9.2	3.3		0.6
0.7			289	103	12	4.2		0.7
0.8			366	131	15	5.3		0.8
0.9				161	18	6.5		0.9
1.0				194	22	7.8		1.0
1.1				210	26	9.2		1.1
1.2				250	30	11		1.2
1.3				290	35	12		1.3
1.4				330	40	14		1.4
1.5				380	45	16		1.5
1.6					50	18		1.6
1.7					56	20		1.7
1.8					62	22		1.8
1.9					68	24		1.9
2.0					74	26		2.0
2.1					81	28		2.1
2.2					88	31		2.2
2.3					95	33		2.3
2.4					103	36		2.4
2.5					110	38		2.5
2.6					120	41		2.6
2.7					130	44		2.7
2.8					140	47		2.8
2.9					150	50		2.9
3.0					160	53		3.0
3.1					170	56		3.1
3.2					180	60		3.2
3.3					185	63		3.3
3.4					190	66		3.4
3.5					200	70		3.5
3.6					220	74		3.6
3.7					230	77		3.7
3.8					240	81		3.8
3.9						85		3.9
4.0						89	20	4.0
4.1						93	21	4.1
4.2						97	22	4.2
4.3						100	22	4.3
4.4						110	23	4.4
4.5						110	24	4.5
4.6						110	25	4.6
4.7						120	27	4.7
4.8						120	28	4.8
4.9						130	29	4.9
5.0						130	30	5.0

(V=2.0m/secは空気調和衛生工学会に基づく)

3-6 給水主管口径算定図表

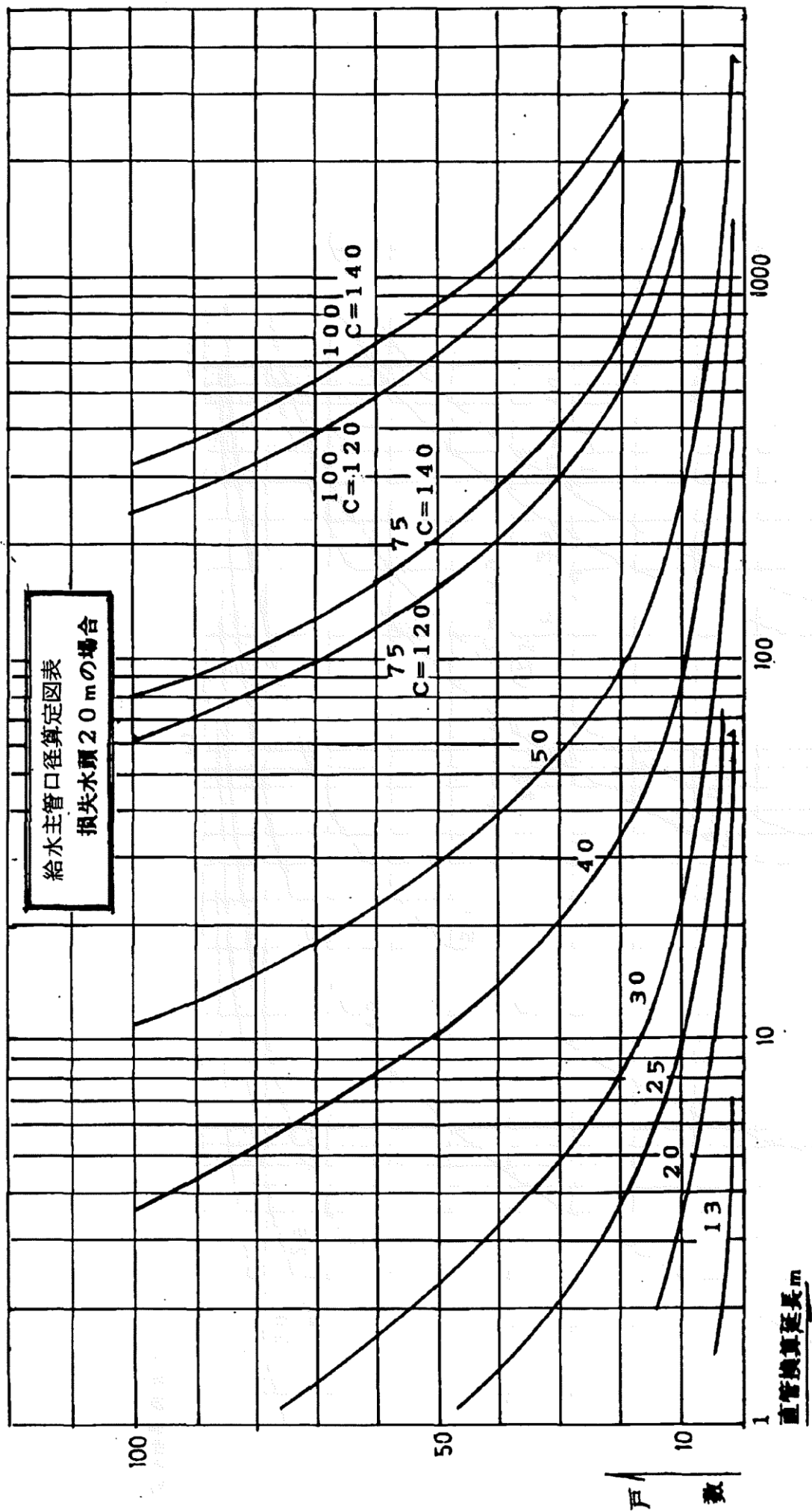
この図表は、1戸の水量を24 (ℓ/min) とし、給水戸に同時使用戸数率（指針 図表2-5-4）を乗じた給水量を基にして算出したものである。

ただし、この図表の使用に際して、口径φ20mmの水栓は1戸分を、口径φ25mmの水栓は2戸を別途加算すること。

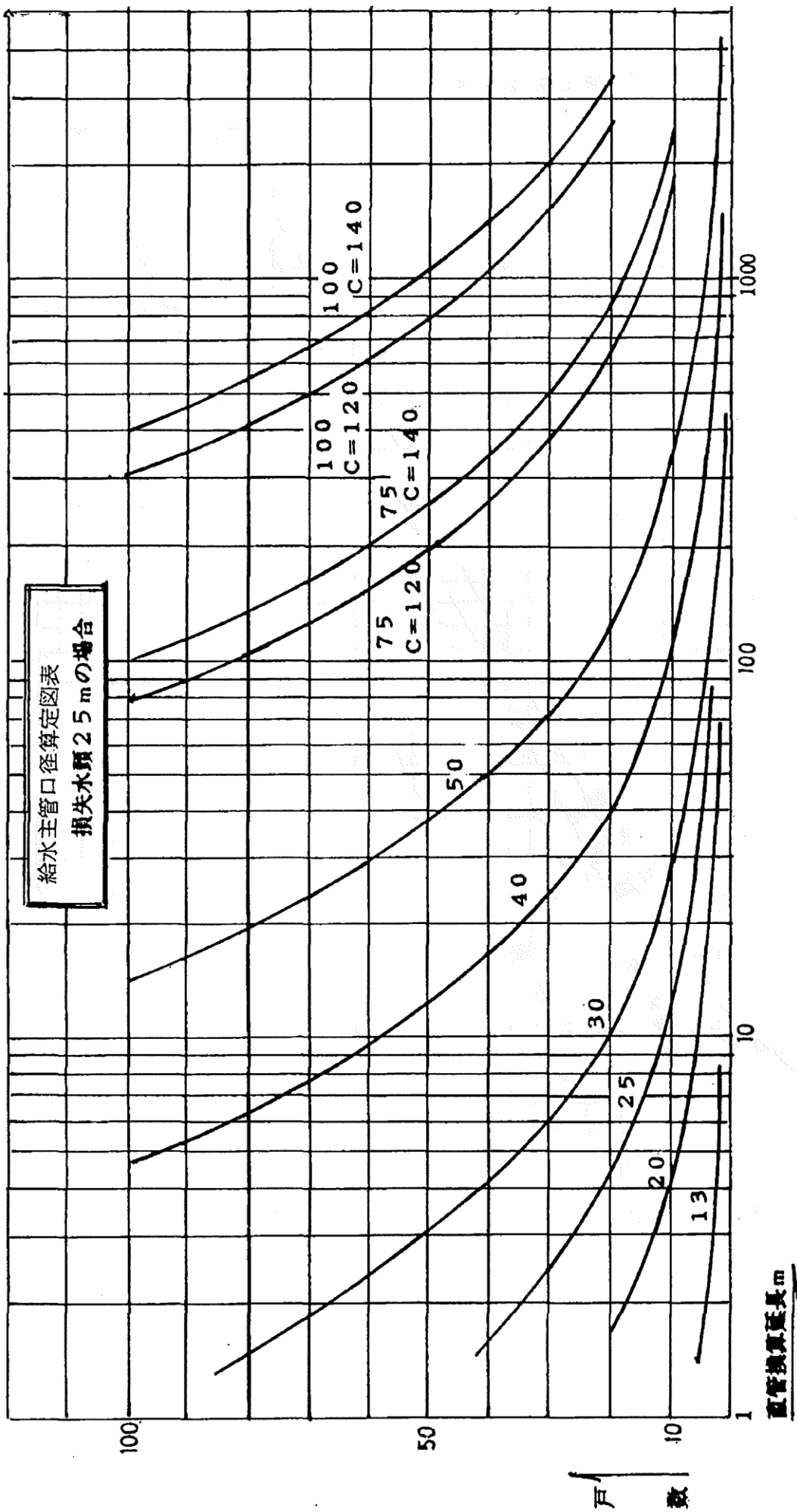


CP=120
VP=140

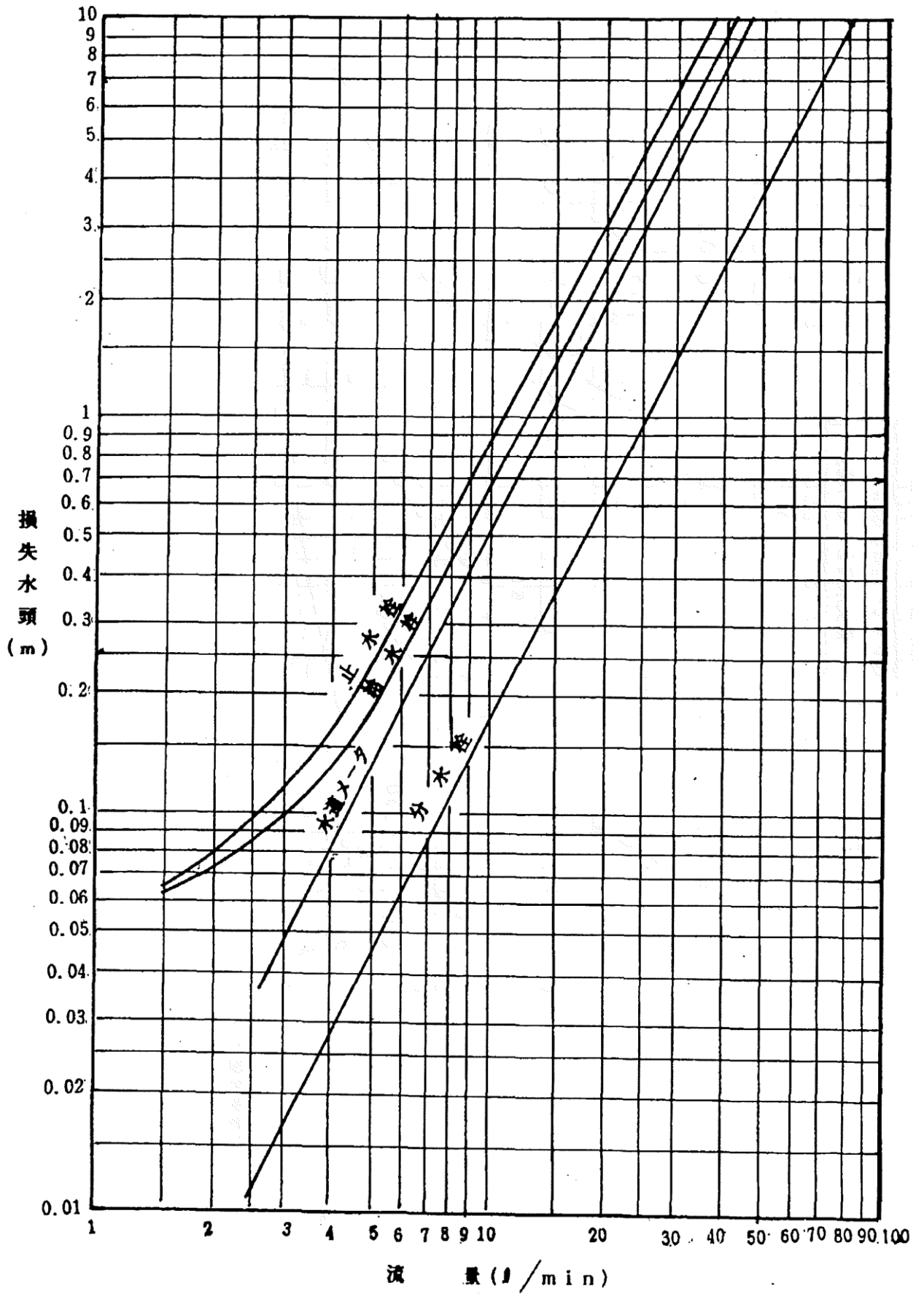
給水主管口径算定図表
損失水頭20mの場合



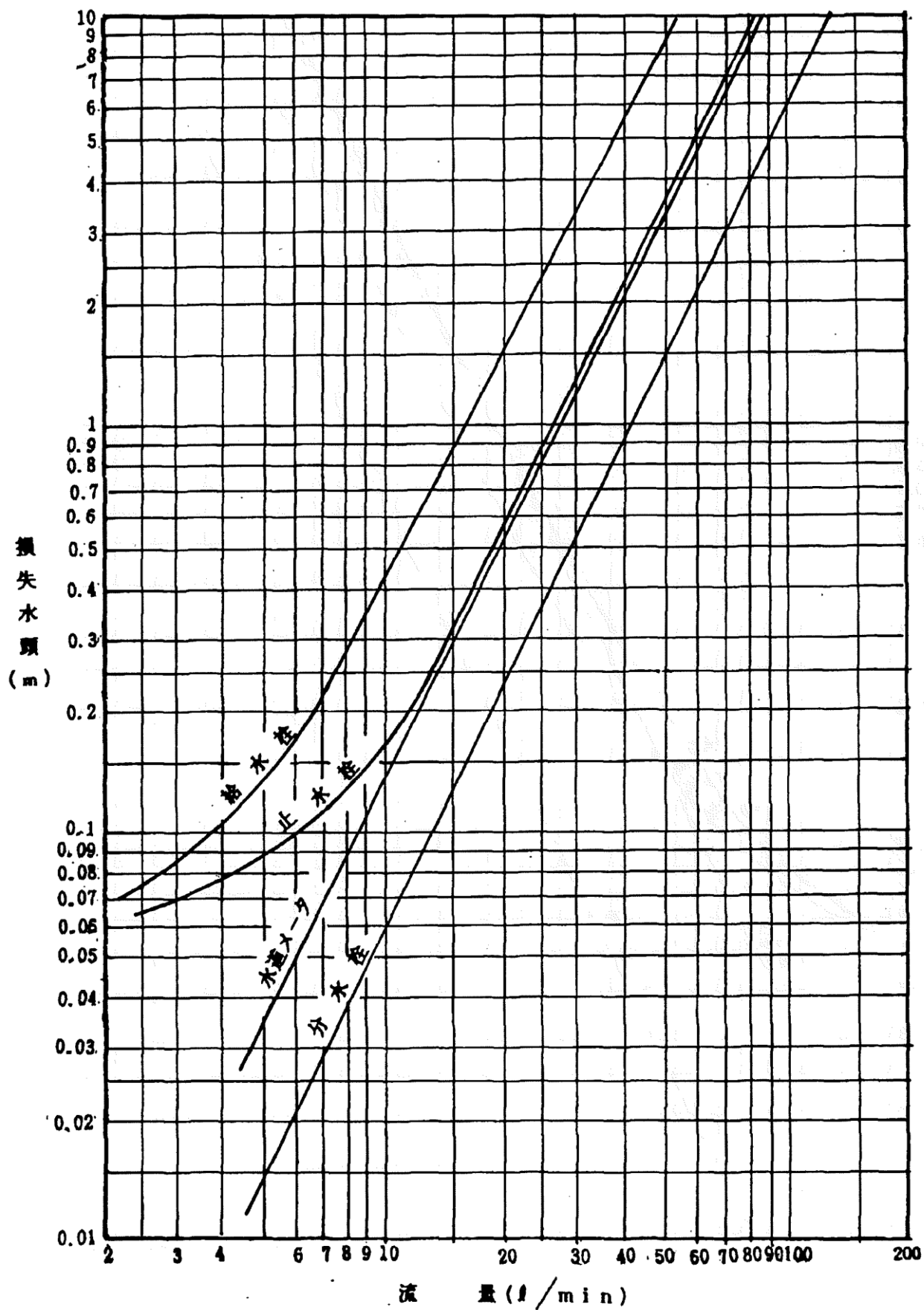
CP=120
VP=140



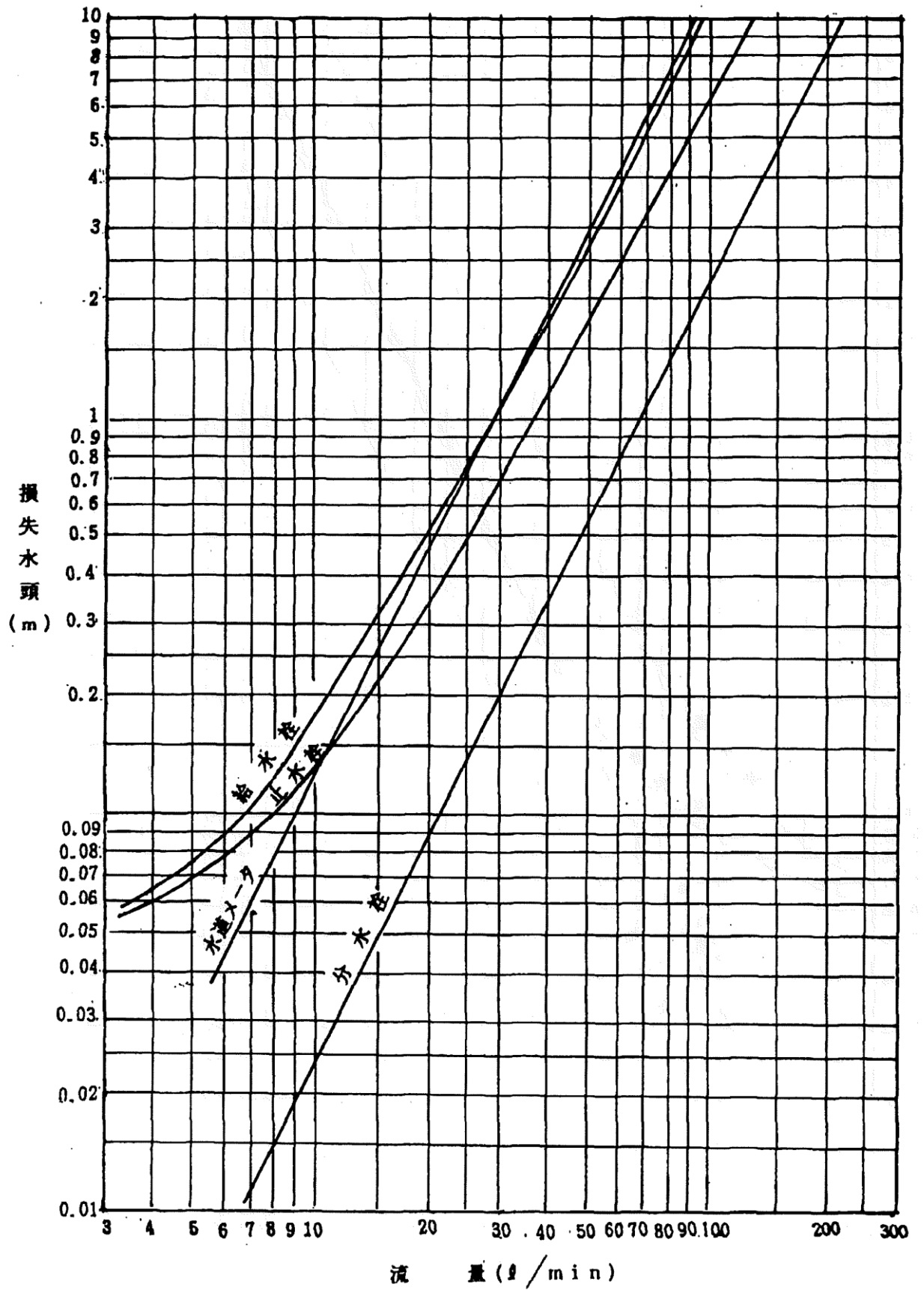
器具流量图表 (13mm)

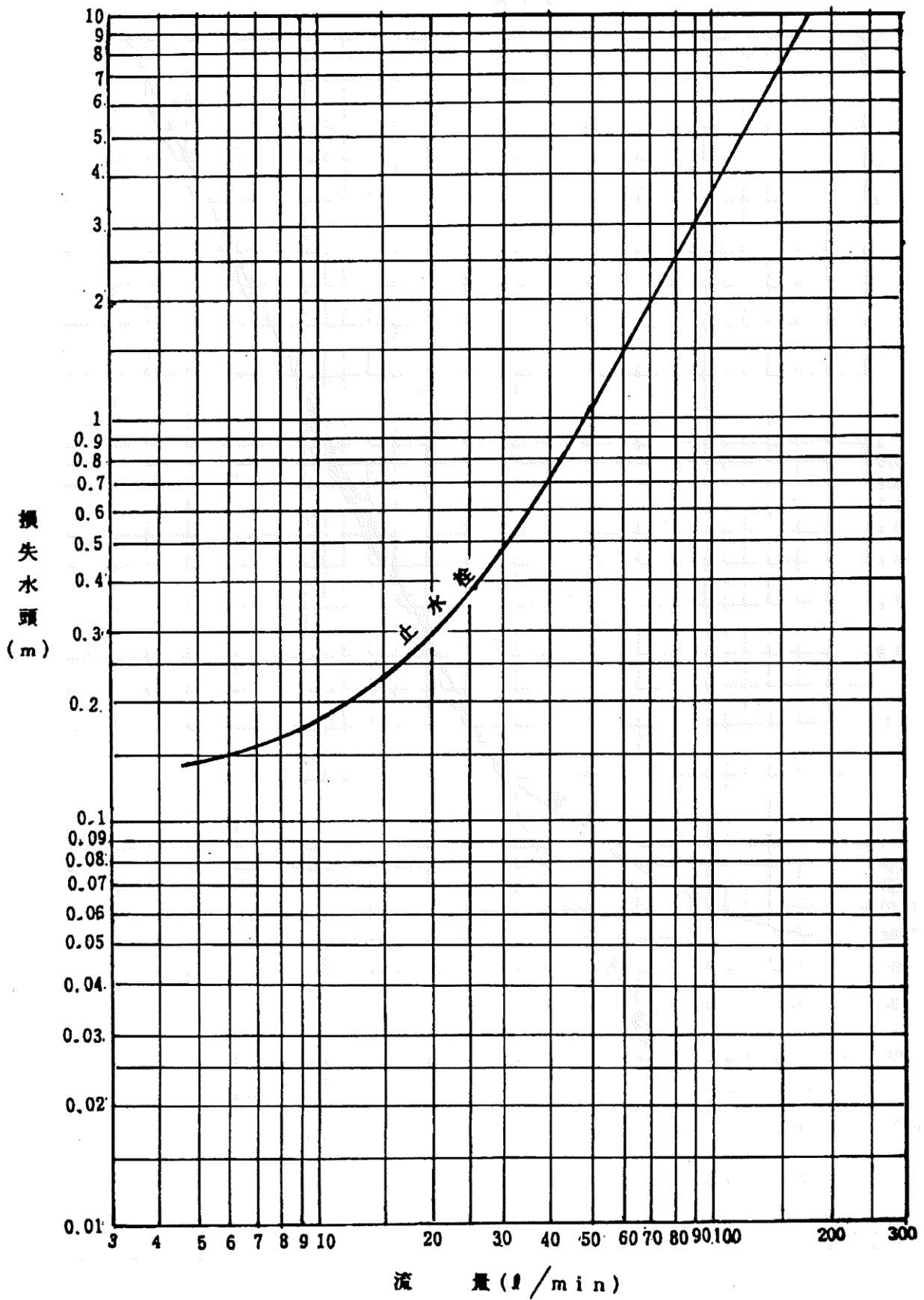


器具流量图表 (20mm)

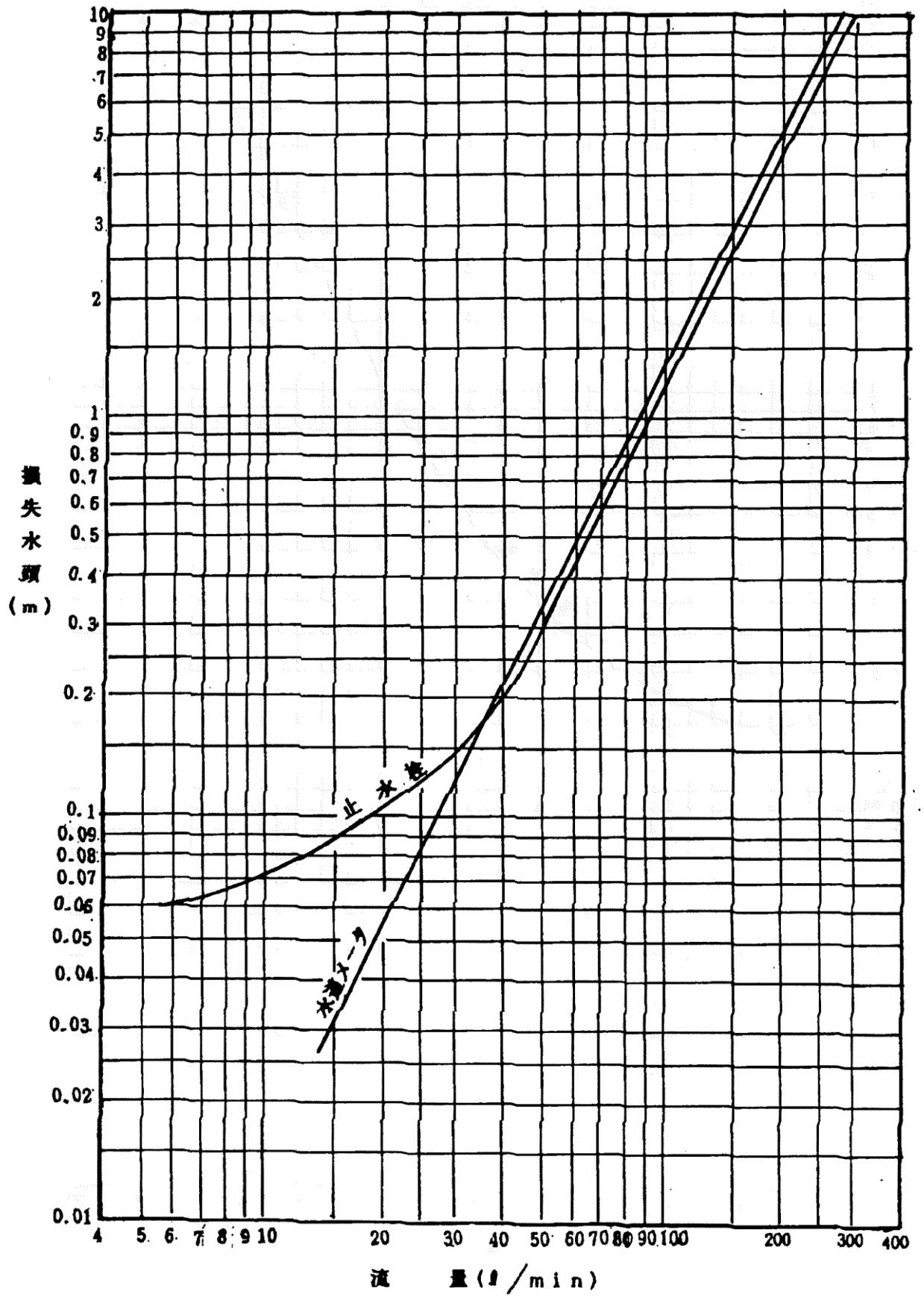


器具流量图表 (25 mm)

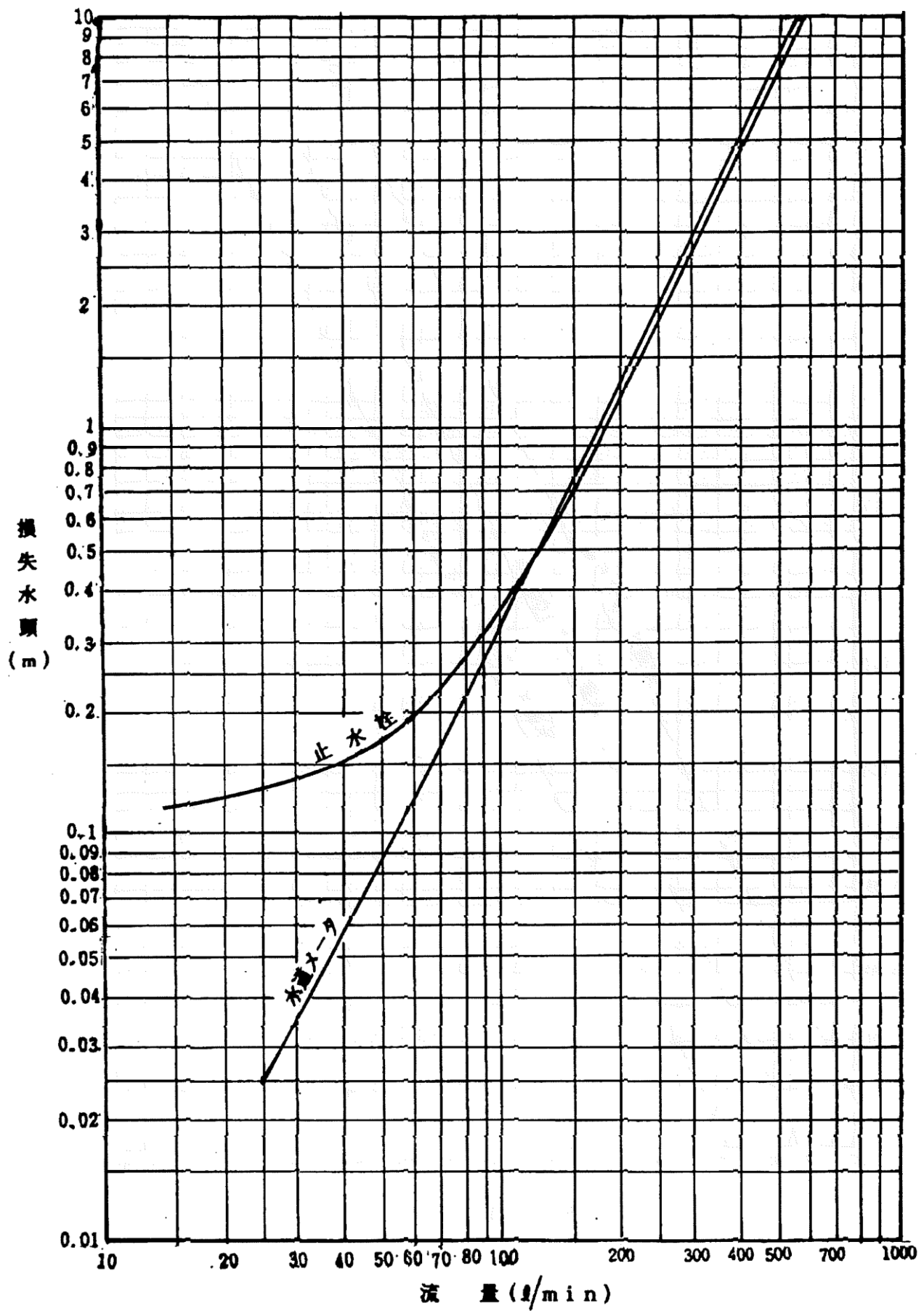




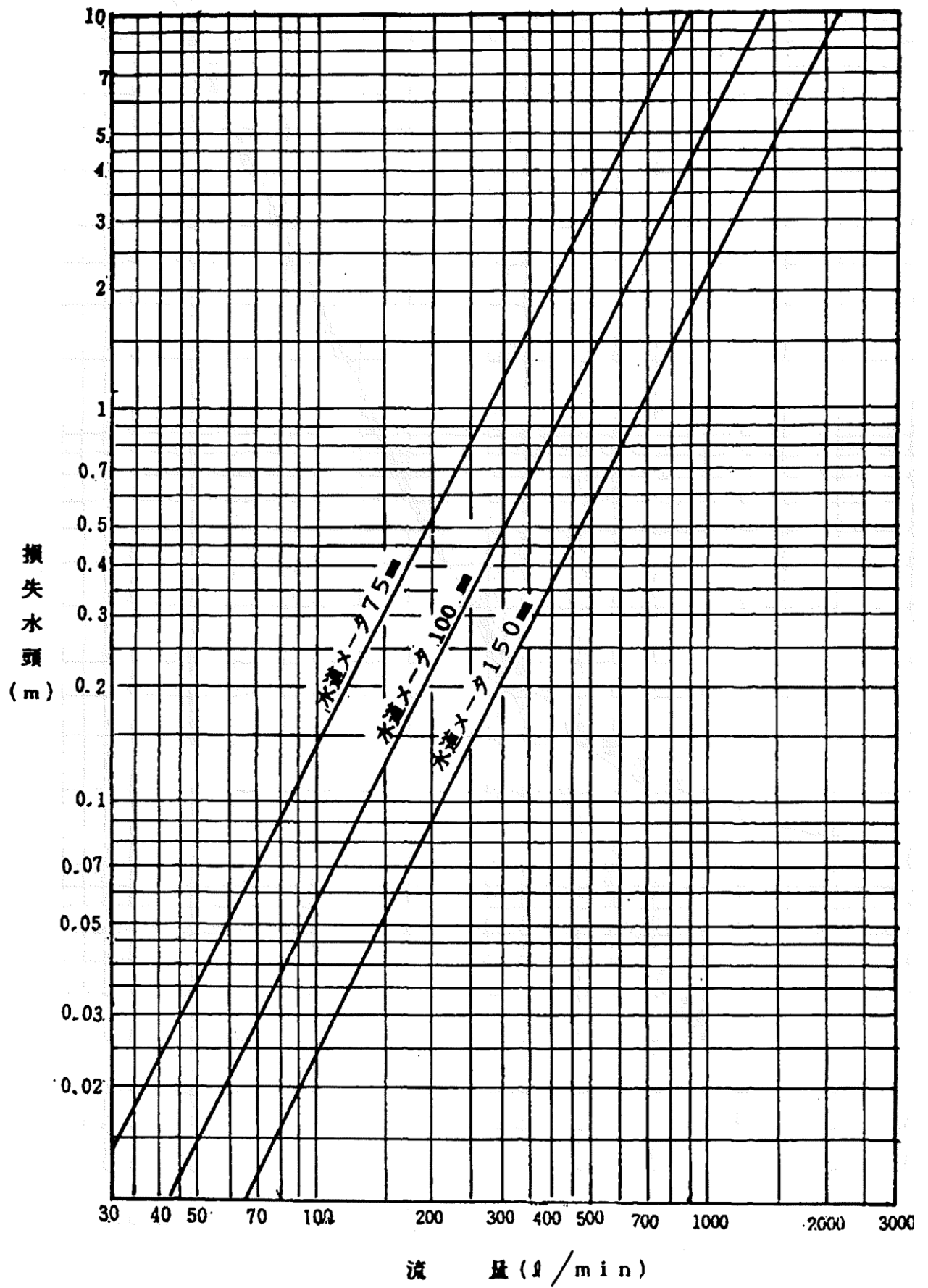
器具流量图表 (40mm)



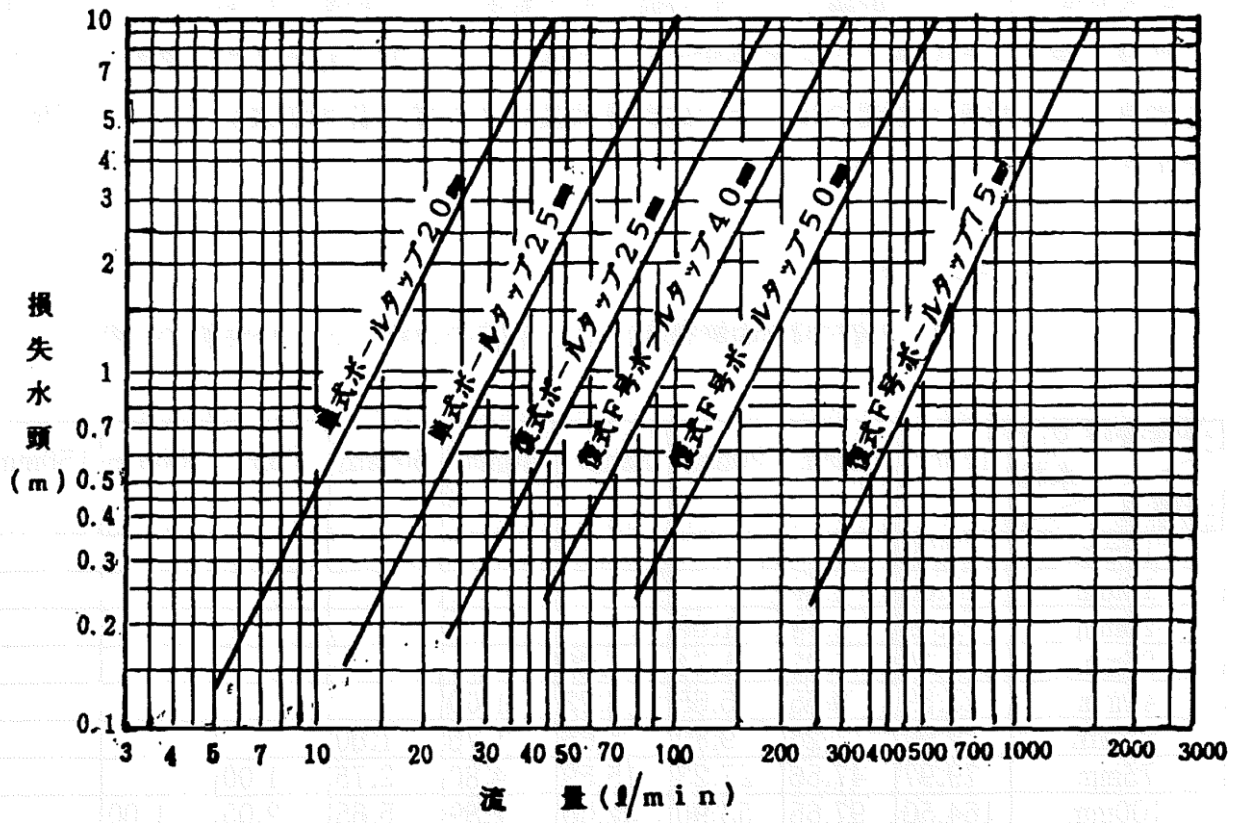
器具流量图表 (50mm)



器具流量図表 (水道メータ75mm~150mm)



器具流量図表 (ボールタップ20mm~75mm)



発行 小田原市上下水道局